

資生堂、プライド月間に LGBTQ+支援の取り組みを強化

すべての人が安心して「美」に出会える環境づくりを推進

株式会社資生堂(以下、資生堂)は、LGBTQ+の権利を啓発するイベントが世界各地で行われる6月の「プライド月間(Pride Month)」に、「Diversity Week for LGBTQ+ 2026」イベントを開催します。

当社は、年間を通じて社内・社外を問わず様々な多様性について理解を深めるための取り組みを行い、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指しています。今年は美容職(パーソナルビューティーパートナー:PBP)向け LGBTQ+対応研修の内容を刷新し、あらゆる対応の場において、より多くのお客さまが安心して自分らしさを楽しめる体験の提供を強化します。また、通算8回目の出展となるTokyo Pride^{※1} 2026の資生堂ブースでは、手話での対応^{※2}を行うなど、多様な背景を持つ来場者が安心して参加できる顧客体験を届けます。これらの取り組みを通じて、すべての人が安心して「美」に出会える環境づくりを推進し、LGBTQ+コミュニティとアライ^{※3}への支援を一層拡充していきます。



Tokyo Pride 2025 での資生堂ブース



資生堂主催のトランスジェンダー女性・ノンバイナリーの方
に向けたメイク講座 2025

「Diversity Week for LGBTQ+ 2026」について

<社会に向けた取り組み>

● 美容職向け LGBTQ+対応研修の刷新

当社では2019年より、美容職を対象にLGBTQ+対応研修を実施してきました。今年は研修内容を刷新し、LGBTQ+当事者のお客さまにも安心して来店いただけるよう、店頭での実践を想定したケーススタディーを強化しています。

また、昨年開発したメイク情報^{※4}をもとに、今年もトランスジェンダー女性・ノンバイナリーの方向けのメイクアップ講座^{※5}を実施し、自分らしさを表現する体験機会の提供に継続して取り組みます。

● Tokyo Pride 2026 でのインクルーシブな顧客体験強化

当社ブースでは、来場者に向けてパーソナル B カラー診断^{※6}を用いた似合う色の提案をはじめ、肌測定や自分に合った日焼け止めの案内、ブランド「BAUM」のボディ用フレグランス^{※7}を体験いただけます。今年は、様々な属性や背景が重なり合う交差性に配慮し、LGBTQ+コミュニティの聴覚に障がいのある方にも安心して利用いただけるよう手話美容部員による手話での対応を導入するなど、インクルーシブな顧客体験の強化を図ります。加えて、当社社員有志がパレードに参加し、アライシップへの理解と実践につながっています。これらの取り組みを通じて、一人ひとりが自分らしくいられる「美」の体験を提供します。

● 国内外のプライドイベントへの参画拡大

従来から当社は国内外のプライドイベントに継続して出展しており、今年も日本各地では福岡、名古屋、大阪、札幌などに加え、海外ではケルン、ニューヨーク、台湾などのイベントに参画します。より広範な地域でLGBTQ+コミュニティへの支援を可視化します。

- 多様な LGBTQ+コミュニティへの支援

レズビアン女性を中心としたコミュニティイベント「PIAMY フェス 2026」^{※8} に協賛しました。LGBTQ+コミュニティに寄り添った支援を通じて、その中にある多様なニーズに応える取り組みを進めます。

- 「Pride Action 30」^{※9}への継続参画

3年連続でキャンペーン「Pride Action 30」に協賛しました。プライド月間に LGBTQ+当事者の方々への理解と支援を示す 30 個のアクションを促す取り組みです。

<社内の取り組み>

- 社内啓発ウェビナー「Diversity Week for LGBTQ+」の実施

LGBTQ+に関する理解とアライコミュニティの醸成につなげるため、資生堂グループの LGBTQ+当事者・アライの社員が出演し当事者を取り巻く現状について語り合うセッション、外部有識者として寺原真希子弁護士を招いた同性婚法制化に関するウェビナー、当事者の声を店頭やオンラインなどの様々な対応の場に活かす座談会を実施します。

資生堂の LGBTQ+に関する主な取り組み

<社会に向けた取り組み>

- 多様化するお客さまのニーズに対応し、LGBTQ+のお客さまが安心して利用できるよう、当社のパーソナルビューティーパートナー(PBP)は、2019年から開始された LGBTQ+対応研修を受講。
- 婚姻の平等(同性婚の法制化)キャンペーン「Business for Marriage Equality^{※10}」および「ビジネスによる LGBT 平等サポート宣言^{※11}」に賛同。
- 2025年に企業の LGBTQ+支援を評価する一般社団法人 work with PRIDE^{※12}にて最高のゴールド認定を受賞。同認定企業の中から選ばれる、セクターを超えた協働を推進する企業としてレインボー認定を獲得。

<社内の取り組み>

- 社員がありのままの姿で働けるよう、「資生堂倫理行動基準^{※13}」において、多様性の尊重と性的指向・性自認などによる差別の禁止を明文化。
- 日本国内では 2017年に就業規則を改訂し、社員の同性パートナーも異性の配偶者と同様に、特別休暇、介護制度、育児制度などの福利厚生を利用できるよう適用しています。
- 2024年から LGBTQ+に関する従業員リソースグループ「ColorFulls」を設立。当事者を取り巻く現状について語るウェビナーを実施するなど、社員が理解を深める機会を提供。
- 2024年に当社のブランド活動に本格的に DE&I の視点を取り入れるインクルーシブ・マーケティング ラーニングセッションを展開。社内・社外の LGBTQ+当事者や障がいのある方との対話を通じ、ブランド価値の向上に活用。

※1 Tokyo Pride (旧:Tokyo Rainbow Pride)はアジア最大級の LGBTQ+イベント:<https://tokyorainbowpride.com/>

※2 手話を用いたオンライン美容相談サービス Online Beauty 聴覚障がい者向けコース:<https://www.shiseido.co.jp/onlinebeauty/>

※3 理解者であり、支援者を指す

※4 トランスジェンダー女性・ノンバイナリーの方に向けた「自分らしさを彩るメイクアップガイド」:

<https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/power-of-beauty/pdf/guide.pdf>

※5 2026年6月26日開催「なりたいたいわたしに近づくメイク講座」:<https://forms.office.com/r/x2KAL7NuSq>

※6 肌、髪、瞳の色からのお客さまのパーソナルカラーを紹介する資生堂オリジナル診断方法

※7 バウム リフレッシング ボディコロン アクアティック グリーン<ボディ用フレグランス>:

<https://www.baumjapan.com/baum/product/mind/bodycologne.html>

※8 日本最大級の LGBTQ+女性らが集うイベント:<https://prt看times.jp/main/html/rd/p/000000016.000133925.html>

※9 NPO 法人プライドハウス東京とパナソニック コネクト株式会社が共同で企画するキャンペーン:<https://pridehouse.jp/prideaction/>

※10 婚姻の平等に賛同する企業を可視化するキャンペーン:<https://bformarriageequality.net/>

※11 「ビジネスによる LGBT 平等サポート宣言」賛同企業:<https://equalityactjapan.org/>

※12 企業などにおける LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体:<https://workwithpride.jp/>

※13 資生堂グループで働く一人ひとりがとるべき行動の指針:https://corp.shiseido.com/jp/company/standards/pdf/standard_jpn.pdf